

# うべしたぶんかきょうせいすいしんびじょん がいようばん にほんご 宇部市多文化共生推進ビジョン 概要版(やさしい日本語)

うべしで暮らしがくわいこくじんが増えてきました。がくわいこくじん、にほんじん、あんしん、いっしょに暮らすためには、「多文化共生※によるまちづくり」がたいせつです。うべしは、「うべしたぶんかきょうせいすいしんびじょん」をつかって、うべしに住むひとや、はたらひと、いっしょに、たぶんかきょうせい、共生のまちづくりを進めます。

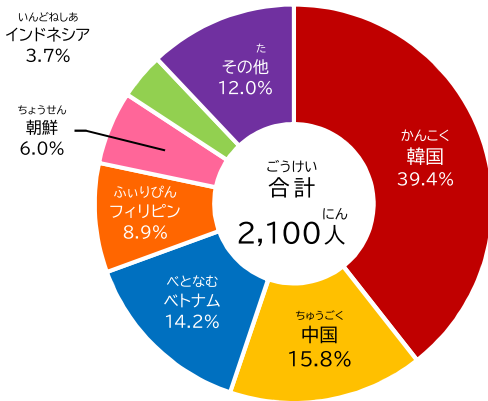
※多文化共生とは…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。  
(出典:総務省 多文化共生の推進に関する研究会報告書)

## うべし げんじょう くだい 宇部市の現状と課題

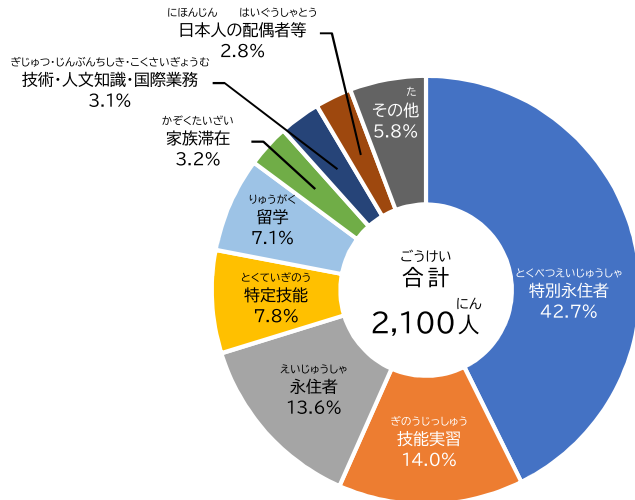
### こくせき ちいきべつ じょうきょう 国籍・地域別の状況

### ざいりゅうしかくべつ じょうきょう 在留資格別の状況

- 宇部市には、韓国、中国、ベトナム、インドネシア、ネパールの国の人が多いです。  
10年前は37の国の人が住んでいましたが、今は、45の国の人が住んでいます。



- 宇部市では、特別永住者が一番多いです。技能実習や永住者、特定技能も多いです。留学生も多く住んでいます。



## うべし くだい 宇部市の課題

こみゆにけーしょん コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日本語を勉強する機会を増やす</li> <li>✓ 多文化共生のことをみんなに知ってもらい、わかってもらう</li> <li>✓ 地域の交流を進める</li> </ul>
せいかつかんきょう 生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 外国人が使いやすい医療・保健・福祉・生活衛生サービスにする</li> <li>✓ 防災の情報を外国人にもわかりやすく伝える</li> <li>✓ 住む場所や公共交通についての心配や不安をなくす</li> </ul>
こよう 雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 働く外国人を受け入れる準備をする</li> <li>✓ 外国人が働きやすい環境をつくる</li> </ul>
こそだ 子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 経済的な不安をなくす</li> <li>✓ 外国にルーツを持つ子どもたちの教育環境や受け入れる準備をもっと良くする</li> <li>✓ 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語を勉強する機会をもっと多くする</li> </ul>
じょうほう 情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 情報を伝える方法や宇部市外国人総合相談窓口のことを知ってもらい</li> <li>✓ みんなが知りたい情報をきちんと伝える</li> <li>✓ 日本の生活や文化のルールやマナーを知ってもらい</li> </ul>

こくせき みんなぞく ぶんか ちが かが  
国籍、民族、文化の違いに関わらず、  
すべ ひと かにてき す  
全ての人が快適に過ごせるまち

1 そうごそんちよう こみゆにけーしょん ちいきづくり  
1 相互尊重のコミュニケーションによる 地域づくり

がいこくじん せいかつ ひつよう にほんご ちから み ちいき ひと いっしょ せいかつ にほんご きょういく  
外国人が生活するために必要な日本語の力を身につけて、地域の人たちと一緒にうまく生活できるように、日本語の教育を  
よくします。また、外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」をもっと広げて、いろいろな国の文化を理解し合うことを広げ、  
にほんじん がいこくじん せいかつ なか くに ぶんか こうりゆう ちいき こうりゆう  
日本人と外国人が生活の中で、いろいろな国の文化の交流や地域の交流ができるようにします。

(1) せいかつ ひつよう にほんご まな きかい ふ  
(1) 生活のために必要な日本語を学ぶ機会を増やします

がいこく ひと にほんご まな きかい ふ にほんご まな ひと じょうほう おし  
外国の人たちが、もっと日本語を学ぶ機会を増やします。日本語を学びたい人たちに情報を教えます。

とりくみ: にほんご きょうしつ ふ / オンラインの にほんご きょうしつ を します。 / にほんご まな ひと じょうほう おし  
とりくみ: 日本語教室を増やします。 / オンラインの 日本語教室をします。 / 日本語を学びたい人に 情報を 教えます。

(2) にほんご りかい  
(2) 「やさしい日本語」を みんなに 理解してもらいます

「やさしい日本語」を たくさんの人に 知ってもらい、コミュニケーションをしやすくします。宇部市からの情報を「やさしい日本語」  
つた へん  
で 伝えます。

とりくみ: にほんご はな ひと ふ にほんご じょうほう つた うべし せいど ぼらんていあ  
とりくみ: 「やさしい日本語」を話す人を増やします。 / 「やさしい日本語」で 情報を 伝えます。 / 宇部市国際ボランティア  
制度に 新しく「やさしい日本語」分野を増やします。

(3) たぶんかきょうせい し たが りかい  
(3) 多文化共生について知って お互いを 理解します

たぶんかきょうせい りかい せいど せいど せいど  
多文化共生について 理解するために、講座や ワークショップをします。

とりくみ: たが ぶんか し こうざ たぶんかきょうせい きょうりやく ひと ふ  
とりくみ: お互いの文化を知るための 講座をします。 / 多文化共生のまちづくりに 協力してくれる人を 増やします。

(4) にほんじん がいこくじん こうりゆう ちいき  
(4) 日本人と外国人が たくさん交流できるような 地域をつくります

がいこくじん まつ うんどうかい ぎょうじ さんか ちいき  
外国人も お祭りや 運動会などの 行事に 参加しやすい 地域をつくります。

とりくみ: ちいき にほんじん がいこくじん こうりゆう きかい ちいき がいこくじん す とくい いべんと  
とりくみ: 地域の 日本人と 外国人が 交流する機会をつくります。 / 地域の外国人の 好きなことや 得意なことの イベントを  
ちいき まつ ぎょうじ さんか  
します。 / 地域のお祭りや 行事に もっと参加しやすくします。

2 だれ あんしん せいかつ ちいきづくり  
2 誰もが 安心して 生活することができる 地域づくり

がいこくじん にほんじん うべし す たの あんしん くら  
外国人も 日本人も、宇部市に ずっと住みたくるように、楽しく 安心して 暮らせるまちを めざします。

(5) がいこくじん つか せいかつ さーびす ふ  
(5) 外国人が 使いやすい 生活サービスを 増やします

にほん せいかつ ひつよう さーびす いりよう ふくし ほけん など) がいこくじん にほんじん おな う  
日本で生活するために必要なサービス(医療、福祉、保健など)を 外国人が 日本人と 同じように 受けられるようにします。

とりくみ: びょういん い ほんやくさーびす つうやくぼらんていあ つか おやこけんこうてちよう ぼしけんこうてちよう  
とりくみ: 病院に行くときに 翻訳サービスや 通訳ボランティアを 使えるようになります。 / 親子健康手帳(母子健康手帳)や  
ちゅうしゃ よしんひょう じぶん くに ことば つか こども そだ べんり じょうほう つた  
注射の予診票が 自分の国の言葉で 使えるようになります。 / 子どもを 育てるときに 便利な情報を 伝えます。

## (6) 毎日の生活や公共交通の不安をなくします

外国人に日本の生活やバスや電車の乗り方のルールを伝えて、日本人と外国人のどちらも気持ちよく暮らせるようにします。

とりくみ:外国人に防犯や交通ルールを伝えます。/ごみの捨て方や自治会など生活ルールの情報を伝えます。/日本での生活に関するオリエンテーションをします。/バスや電車の案内をいろいろな言葉で書きます。

## (7) 外国人も含めた災害に強いまちをめざします

宇部市に住んでいる外国人や、宇部市に旅行に来た外国人が、災害が起きた時に困らないように準備をします。

とりくみ:避難所で使える言葉を増やします。/外国人のための防災教室をします。/山口県が作った「外国人住民のための防災ハンドブック」をみんなに広めます。

## 3 日本人と外国人が共に活躍できる地域づくり

いろいろな国や地域から来た人たちが一緒に活動したり、得意なことを活かしたりして、元気でいろいろな人がいるまちをつくれます。また、日本に旅行に来た外国人や、姉妹・友好都市と交流して国際的なまちをめざします。

## (8) 外国人が働きやすい環境をつくります

関係機関と協力して、外国人と日本人と一緒に安心して働ける環境をつくります。

とりくみ:宇部市の会社が外国人を受け入れるためのサポートをします。

## (9) 日本に旅行したい外国人に宇部市の良いところを伝えます

関係機関と協力して、外国や日本に旅行したい外国人に、宇部市の良いところを伝えます。

とりくみ:観光地としての魅力づくりを進めます。/宇部市の良いところを海外に発信します。/外国クルーズ船を誘致します。

## (10) 姉妹・友好都市や他の国・地域と交流します

姉妹都市のニューカッスル市(オーストラリア)、カステジョ・デ・ラ・プラナ市(スペイン)、友好都市の威海市(中国)や、他の国・地域と交流します。

とりくみ:市民や都市の間の交流を深めます。/教育・文化・スポーツを通じて交流します。

## 4 子どもたちがのびのびと学び活躍できる地域づくり

宇部市に住んでいる子どもたちが安全に安心して生活できて、グローバルに活躍できるような環境をつくります。

## (11) 外国にルーツを持つ子どもたちや、お父さん、お母さんが安心して過ごせる環境をつくります

外国にルーツを持つ子どもたちや、お父さん、お母さんが安心して学校生活を過ごせるように助けます。

とりくみ:外国にルーツを持つ子どもたちが学校に入るときの助けを増やします。/お父さんやお母さんが読む手紙をいろいろなことばで書きます。/日本語を学びたい子どもたちが日本語を学べるようにします。/多文化共生の考え方を子どもたちに教えます。/子どもたちやお父さん、お母さんが学校のことばで困ったときに相談できるようにします。

## (12) 世界で活躍できる子どもたちを育てます

姉妹・友好都市やその他の国・地域と交流して、世界で活躍できる子どもたちを育てます。

とりくみ:ジュニアグローバル研修派遣(中学生が姉妹・友好都市に行く)／姉妹都市短期留学支援(高校生がオーストラリアに行く)／子どもたちが国際交流の行事に参加しやすいようにします。

## 5 情報・人的ネットワークが確立された地域づくり

宇部市に住む人が、みんな同じように宇部市の情報を知ることができて、生活サービスを受けられるようにします。

## (13) 宇部市の情報をいろいろな言葉で伝えます／困ったときに相談できるところをつくります

宇部市の情報をいろいろな言葉で伝えます。また、宇部市役所で働く人も多文化共生のことをよく知ります。

とりくみ:宇部市の情報をいろいろな言葉で伝える。／看板や案内をいろいろな言葉で書く。／市役所の窓口がいろいろな言葉で対応できるようにする。／市役所で働く人が「やさしい日本語」を話せるようにする。／スマートフォンなどを使って通訳や翻訳をする。

## (14) 多文化共生のまちをつくるための情報を伝えます

ウェブサイトやソーシャルメディア(Instagram, X, Facebook, YouTubeなど)を使って、宇部市の多文化共生を進めます。

とりくみ:ソーシャルメディア(Instagram, X, Facebook, YouTubeなど)を使って多文化共生の取り組みを伝えます。／地域で活躍する外国人を紹介しします。／宇部市多文化共生推進ビジョンのことをみんなに伝えます。

## 推進の体制

宇部市の多文化共生を進めるためには、市民、地域、関係機関が一緒に取り組みを進めることが大切です。

### 教育機関

留学生がいる大学や高等専門学校は、留学生の能力や多様性は、留学生の能力や多様性を多文化共生のまちづくりに活かし、留学生が地域で活躍できる仕組みをつくることを期待されます。

### 市民・地域

会社や学校、地域の外国人と交流しながら、お互いのことをよく知ること、一緒に安心して生活できる宇部市をめざします。

### 宇部市

このビジョンによって多文化共生の取り組みを進めます。山口県や宇部市の会社、地域、市民活動団体と情報を共有しながら、協力して多文化共生を進めます。

### 多文化共生社会の推進

国籍、民族、文化の違いに関わらずすべての人が快適に過ごせるまち

### 会社

外国人がこれからも安心して働くことができるように、次のことが期待されます。  
・人権や法律を守ること  
・生活のサポートをすること  
・一緒に暮らしやすい地域をつくること  
・日本語を学ぶ機会を増やすこと

### 市民活動団体

それぞれの団体の得意なことを活かしながら、地域に根差した活動が期待されます。

### 公益財団法人

### 山口県国際交流協会(YIEA)

山口県の国際化を進めてきた経験を活かし、やさしい日本語やいろいろな言葉で相談をうけたり、情報を発信したりします。